

このある彼女だけに、偶には抱
妓たちや交つて三絃の撥をとり、
情歌のお稽古をするやうになつた
お玉は最も好い汐時だと突入つて
「貴女も然してゐらしては退屈
で仕方ないでせう。一つ番發し
てお座敷に出なすつたら如何です
か。貴女ならもう保険附、きつとお客
から引張風にされますよ。」
と唆かし立てた。と、龍子は
「然うねえ。出て見ようかしら...
婆なんか無かつたつて、どうに
か購かすわ。」
とふはりと乗つた。



「え、結構ですとも、此節のお客
にはそんな物が向かないですのよ
無様に唄へといはれたら、モンシ
々、お前さんよ、世界のうちで
お前ほど歩みの鈍いものはないと
大きな聲でおやんなさいよ。」
「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

第一 全道庭球大會

期日は六月八日 梅屋運動
具店主催 高商本社後援

「然うねえ。出て見ようかしら...
婆なんか無かつたつて、どうに
か購かすわ。」
とふはりと乗つた。
...
「然うねえ。出て見ようかしら...
婆なんか無かつたつて、どうに
か購かすわ。」
とふはりと乗つた。
...
「然うねえ。出て見ようかしら...
婆なんか無かつたつて、どうに
か購かすわ。」
とふはりと乗つた。

群雄を糾合し弘く技

を闘ふ時の無かつたてであつた、
全道庭球大會の學は恐らく全道庭
球家の間に、繰返された希望を
あつたであらう、機運は遂に來た
宿望は達せられた、一は全道
の覇、一は無名の優秀選手の紹
介、一は本道界の寄與の爲に
第一回全道庭球大會

根室別當賀

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

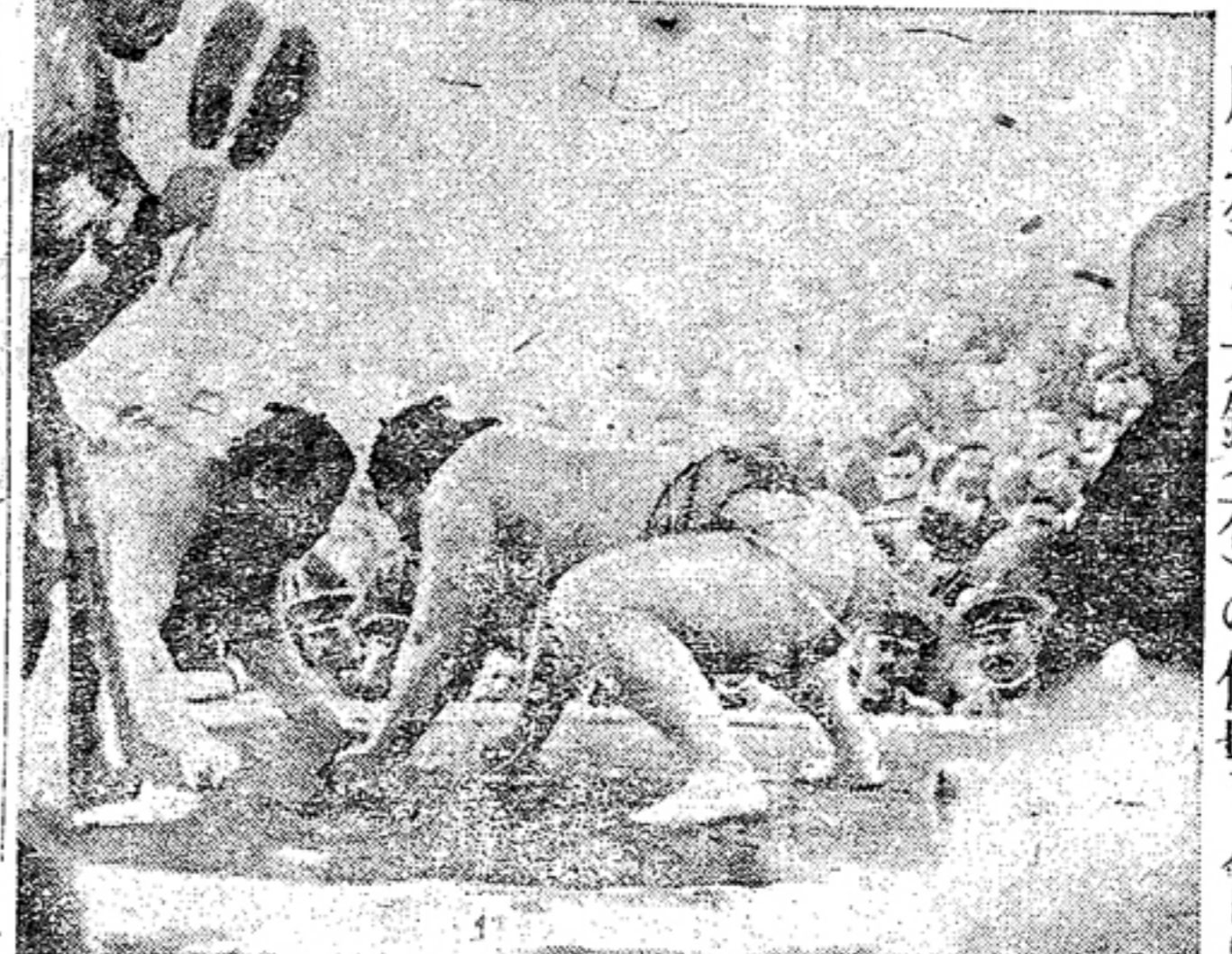
惨劇の跡

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

臨検取調

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

鳳(左)と大錦(右)の仕切 八日目



子野日署長の火防注意

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

犬獺を極め

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

白樺の森に憧憬れて

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

私の番が

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」

運命の

「オホ、まさか...私タンゴダ
ンでもやつて驚かしてやるわ。」
と、お玉は玉龍といふ名を出た。
龍はまづいけれども女學校出て、
英語交りて新しがつたことを言つ
て、それで現代式の肉感美を持つ
てゐるといふのが評判になつて、
一しきりは非常に賣れた。
が、實際は想像したやうなもの
ではなかつた、彼女の心に暗い影
がさした。焦うしてゐるのが淺猿
しいことのやうにつくづくと空虚
な生活を感ぜられた。で、職業し
たいと言つたことも皮々あつた。
が、お玉は取合なかつた。二つの
感情は蛇のやうに纏れ合つた。
「い、加減におしよ、お前の爲に
なれかしと心配して上げてゐるんぢ
やないか。」